



# 輝け！北っ子！

## 家庭で話し合ってみませんか「新型コロナウイルス感染症」 ～子どもたちの思い知る～



今日で5月が終わります。学校全体での休業あけからちょうど1ヶ月経ったこととなります。早いものです。運動会の延期、日課表の変更、学級閉鎖などもあり本当にバタバタした月になりましたが、ようやく学校にも落ち着きが出てきた感もあります。学校休業あけ当初は、朝のあいさつなども「大丈夫かな」と思うくらい元気がなかった子どもたちですが、ここに来て以前のような明るさ・元気が戻ってきたという実感もあります。

ちょっと落ち着いてきたこの時期だからこそ、ご家庭で「新型コロナウイルス感染症」のことを話し合ってみてはいかがでしょうか。新型コロナウイルスの関する知識のこと、ワクチンのこと、予防対策のこと、ワクチン接種の順番、感染経路のこと、学校での取り組み、緊急事態宣言のこと、お店に出される休業要請のこと、タブレットの活用、陽性者の詮索や誹謗中傷のこと、世界の状況・・・etc. 切り口は何でも構いません。新型コロナウイルスに関することで考えるべきことは、たくさんあります。子どもたちは子どもたちなりにいろいろなことを考え、行動しています。

これからの子どもたちにとって大切なことは「自分はどう考えるのか」ということ。新型コロナウイルスの話題などはうってつけの話題です。社会を生き抜く力は学校だけで培うものではありません。ありとあらゆる場面で主体的に物事を判断することを大事にしてほしいと考えています。子どもたちの考え・思いに驚かされる場面もきっとあるはずです。

### ちょっといい話

#### ～言葉の力／心遣いの力～

私は毎朝、子ども達を校門で迎えます。子どもたちに元気なあいさつを定着させたいという思いもありますが、あいさつを交わすことで、子ども達に少しでも元気に学校の一日をスタートしてほしいと願っての行動です。先日も、いつもどおりあいさつをしていると2年生の女の子が私のところに近寄ってきました。そして、

「校長先生、いつもありがとうございます。お仕事がんばってください。」

と声を掛けてくれたのでした。感激でした。たった一言。時間にしたら何秒もない言葉かも知れませんがとてもうれしく、元気になりました。私はその子に

「ありがとうね。とってもうれしいよ。〇〇さんのことばで元気になりました・・・」

と返答しました。

私たちは、たった一言の言葉でもうれしくなったり、元気が出たりした経験を少なからずしているはず。言葉の内容はもちろん、その心遣いがうれしくて・・・。しかし、自分が経験しているにもかかわらず、人に対して心遣いの一言を伝えているかと言えば・・・。恥ずかしながら私はなかなかできていません。自分は「求めるだけ」で相手に対しての言葉掛けがないのでは優しさが連鎖するはずはありません。

ご家庭ではどうでしょうか。子どもたちの行動に対して言葉掛けをしているでしょうか。「ありがとう」「ご苦労様」「うれしいなあ」「すごいじゃない」etc.文字にしたらほんとに数文字、時間にしたらわずか数秒かも知れませんが、その一言があるかないかでは心の持ちようががらっと変わってきます。気づいたことを言葉にする、心遣いを表に出す・・・女の子との朝の時間から考えられました。



### ■報告■

- 学校だよりNo. 10 で今後の見通しを先送りしていた「6/15～5年宿泊学習」ですが、総合的に判断し「延期」といたします。時期・内容については学年と相談しながら決定します。
- 明日から「衣替え」となります。対応よろしくお願ひします。昨年度おこなった「運動着登校」については、状況をみながら判断したいと思っています。追って連絡いたします。